

2025 年 7 月 4 日(開催時間 13:15~17:15)に開催し、22 名が参加しました。

第2回 臨地実習指導者研修報告書

未来の仲間をみんなで育てよう！

臨地実習
指導者



【研修目的】
講義とグループワークを通して、
臨地実習指導者の役割を
理解し、効果的な実習指導を
できるように、学びを深めました。

【目標】

- ・臨地実習を受け入れる一連の流れが理解できる
- ・実習指導を意図的・計画的に実践する必要性が理解できる
- ・学生が主体的に学ぶための指導方法を理解できる
- ・病棟スタッフ、教員と共に、学生指導に取り組むための行動を述べるができる
- ・実現したい指導の方向が明確にできる

講師：保健学科実習委員の先生方



宮崎先生

岳先生

吉田先生

永橋先生

山田先生

研修内容

①講義：「実習受け入れの一連の流れ」

「実習指導の基本」「学生の特徴」

②グループワーク 1：『学生に合った指導方法を考えよう』

③グループワーク 2：『指導者と教員の連携について』

④個人ワーク：『実習を通して学んでほしいわたしの「ねがい」』

《長崎大学保健学科の先生方からのメッセージ》
みなさんのねがいには学生指導への熱意と、
看護を大切にする気持ちがあふれていました！
素晴らしい指導者のもとでの実習が行える環境を
いつもありがとうございます！

学生指導の先輩



リハビリテーション部

本村麻理絵看護師

学生指導を通して自分も成長できます。
ぜひ、実習指導を楽しんでください。

<部署の皆様へ>
いつも看護学生の実習に
ご協力いただき
ありがとうございます



グループワーク 1

『学生に合った指導のコツの一例』

- ・コーチングスキルを使う
- ・質問しやすい雰囲気を作る
- ・ポジティブメッセージを伝える
- ・学生と一緒に考える

グループワーク 2

『指導者と教員の連携について一例』

- ・指導者と教員で役割分担をする
(ケアの担当、記録の確認など)
- ・教員のスケジュールを聞いておく
- ・密にコミュニケーションをとる

作成：看護キャリア支援室 中路梨絵・柴田久美